

令和8年2月2日

エアロビック連盟 関係各位

公益社団法人 日本エアロビック連盟
理事長 知念かおる

日本エアロビック連盟の今後の活動について

日ごろより、日本エアロビック連盟の活動に温かいご支援とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

当連盟における事業運営につきまして、1月30日開催の理事会において承認を受けましたので、あらためて現状および今後の方向性についてご説明申し上げます。

当連盟の事業は、協賛企業のご支援によって成り立っているといえますが、近年、協賛各社におかれましても、社会環境の変化や事業の転換期を迎え、協賛のあり方について見直しが進められています。

こうした状況を踏まえ、当連盟の今後の取り組みについて検討を重ねた結果、長年にわたり国際交流と競技の発展を支えてきた「スズキワールドカップ」につきましては、その歴史と意義を大切に受け止めつつ、2026年大会をもって一つの節目として終了し、次の展開へ進むことといたしました。この節目を、国内競技の価値をあらためて見つめ直し、新たな発展につなげていくための大切な機会と捉えております。

そして、次の展開へ進むための転換点として、「スズキジャパンカップ」を核とした国内競技会の再構築を進めるとともに、地域連携を強化した体制のもと、全国大会の魅力と発信力の向上に取り組んでまいります。

あわせて、エアロビック本来の魅力を生かした普及事業にも注力し、「スローエアロビク」を中心に、誰もが安全に楽しく取り入れやすい健康づくりを全国へ広げてまいります。自治体や企業、関係団体と連携し、指導者育成や実践機会の拡大を通じて、新たなエアロビク愛好者の創出と社会貢献を目指してまいります。

令和8年度以降の日本エアロビック連盟の活動にあたり、関係者の皆様のご理解とご支援、ならびに一層のご協力を心よりお願い申し上げます。